

Kyoto Prefecture Hospital Association News

第27号

2025年1月

京都府病院協会ニュース

《発行所》一般社団法人 京都府病院協会 《発行人》若園吉裕 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6 京都府医師会館内
TEL 075-354-6120 FAX 075-354-6074 <http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/>

新年のご挨拶

今年が成長の年になることを願って

一般社団法人京都府病院協会会長 若園吉裕



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては新春を迎え健やかに過ごされたこととお慶び申し上げます。本年の干支は、「乙巳(きのと・み)」です。ヘビは脱皮する習性から、変化や成長の象徴とされています。今年こそ、コロナの影響から脱して変革の運気を呼び込む年になるよう祈念します。

新型コロナウイルス感染症は、一息ついたものの今後も流行を繰り返すと考えられます。これまで手強い感染症に正面から立ち向かってきた皆様に感謝と敬意を表したいと思います。また対応については2

類相当の時代から緩やかなものになりましたが、今後の新興感染症流行時への備えを強化しつつコロナ前の平常に戻ってくることを願っております。

2024年度より医師の働き方改革が開始されました。2023年度まで宿日直許可の問題、自己研鑽の定義、看護師特定行為を含めたタスクシェア・タスクシフトなど幅広く議論され、救急や過疎地域の医療提供体制の崩壊も危惧されましたが、幸いにもそのような事態は避けられたかと考えます。一方生産年齢人口は減少し働き手はどんどん減少してゆき、業務の効率化や外国人労働者雇用やロボット・AIを利用したDXなどが各病院でも着実に進められております。

今後、第8次医療計画や地域医療構想に従い地域医療の集約化と効率化が進んでゆくことと思います。外来医療においてはおかかりつけ医機能を担う医療機関と紹介受診重点医療機関の病院で機能を明確にする方向性が打ち出され外来機能の明確化・連携を図ることが重要となります。入院医療でも第8次医療計画と連動しバージョンアップされた地域医療構想がすすめられますが、地域において機能の異なる病院の役割分担をはっきりさせ、より一層強い連携が望まれることになります。今後とも医師会とともに我々の協会も力を合わせてより地域との連携を深めてゆきたいと考えております。

その地域に密着した病院で、スマートフォンを利用したDXの進め方など先進的で職員を巻き込んで構築された内容を理事長や病院幹部の方から丁寧に説明いただき参考になることがらを多く伺うことができました。その後道後温泉にて疲れを癒し当地の食を堪能し、病院長の皆様と懇親を図ることができました。ご参加いただいた皆様に感謝いたします。

例年開催しております看護師特定行為研修会は、1回目は2025年1月29日(水)にハイブリッド形式にて奈良県立医科大学付属病院の取り組みについて講演いただきました。2回目は2025年2月28日(金)に「手順書の作成過程とその活用について」の講演と術中麻酔などの領域についてのセミナーをハイブリッド形式で行います。本号にも開催案内を掲載しておりますので是非多くの方々の参加を願っております。加えて2025年の2月4日(火)には新春講演会として「紫式部と藤原道長」と題して同志社女子大学の脇谷名誉教授よりご講演いただく予定です。

さて2024年度の診療報酬改定では、人件費増加に対する対応はありましたが、光熱費や物価の高騰に十分対応しておらず、高額医療機器に対する配慮も不十分でした。3病院団体の緊急要望で病院経営の危機的状況に対する救済措置・財政支援の要望が訴えられ、福祉医療機構の病院経営調査でも過去に例がないほど各病院の医療収益の悪化が報告されており、医師会や病院団体から財務大臣、厚生労働大臣に財政支援などの要望を提出されています。また全日本病院協会からは「普通の診療・医療サービス提供で赤字になる報酬体系」と批判されています。各病院でも支出の増額が収入の増額を上回り大変苦しい運営を強いられていることと思いますが粘り強く声を上げてゆく必要があります。京都府病院協会でもデータをまとめ京都府に提出したいと考えます。

最後になりましたが、新たな令和7年が成長・変革の年になることを願い、京都府病院協会の皆様および会員病院のますますのご発展とご健勝を心からお祈りいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度 京都府保健医療・救急医療功労者等知事表彰

本会から個人2名、1団体が受賞

令和6年度京都府保健医療・救急医療功労者等知事表彰の表彰式が11月19日(火)に執り行われ、京都府病院協会からは保健医療・救急医療の各部門において、個人2名、1団体が受賞されました。受賞者は以下のとおり。先生方の受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

《保健医療功労》

個人の部

佐藤 敦夫氏
(京都府立病院)

団体の部

宇治 病院

《救急医療功労》

個人の部

岩本 一秀氏
(京都山城総合医療センター)



謹賀新年

会長 若園 吉裕
(京都桂病院)

副会長 小林 裕
(京都第二赤十字病院)

副会長 佐藤 敦夫
(国立病院機構 南京都病院)

理事 尼川 龍一
(日本バプテスト病院)

理事 岩本 一秀
(京都山城総合医療センター)

理事 尾池 文隆
(三菱京都病院)

理事 大辻 英吾
(京都第一赤十字病院)

理事 黒田 啓史
(京都市立病院)

理事 小池 薫
(国立病院機構 京都医療センター)

理事 阪上 順一
(市立福知山市民病院)

理事 澤田 秀幸
(国立病院機構 宇多野病院)

理事 水野 敏樹
(京都鞍馬口医療センター)

理事 吉岡 隆一
(京都府立洛南病院)

理事 吉田 憲正
(京都済生会病院)

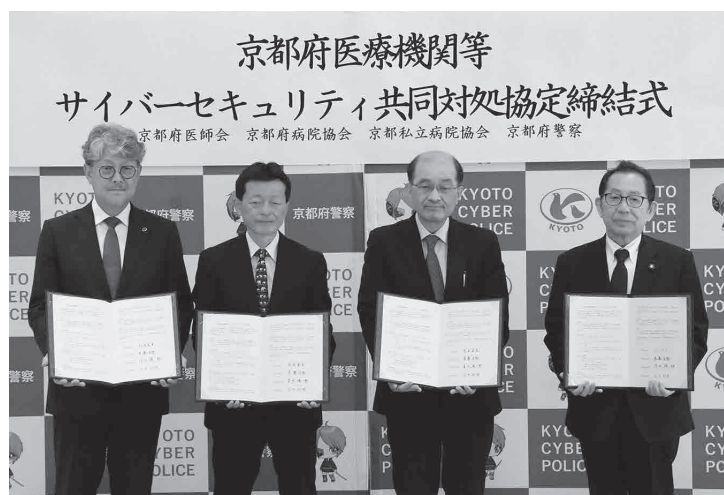
監事 森本 泰介

監事 辰巳 哲也
(京都中部総合医療センター)

京都府医療機関等 サイバーセキュリティ共同対処協定を締結

令和6年5月、京都府公館レセプションホールにおいて、京都府医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定締結式が開催され、京都府警察、京都府医師会、京都私立病院協会、京都府病院協会の4者によるサイバーセキュリティ共同対処協定が締結されました。

これは、近年、医療機関を標的としたサイバー攻撃による被害が増加している状況にあり、各医療機関におけるサイバーセキュリティ対策の重要性が指摘されている中で、日本医師会と警察庁サイバー警察局が覚書を交わした上で、各地域においても医療機関と警察のより強固な関係を築く



とともに、サイバー事案の未然防止等を図るため、平時からの連携強化を目的として、標記の共同対処協定を締結する運びとなりました。本協定は、医療関係団体と京都府警が相互に連携し、府内の医療機関におけるサイバーリスクに的確に対処する取り組みを推進することにより、被害を防止することを目的としています。

日本医師会サイバーセキュリティ対応相談窓口

TEL: 0120-179-066 (年中無休・対応時間6時～21時)

サイバーセキュリティに関連する日常の些細なセキュリティトラブルから重大トラブルまで幅広くご相談いただける相談窓口です。

日本医師会セキュリティガイドライン相談窓口

TEL: 0120-339-199 (平日9時～18時)

医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストの実践ガイドおよびセミナー動画、それらに付随する医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版に関する相談窓口です。

上記の相談窓口はいつでも、無料で何度でもご利用いただけます。

また、日医A①会員が開発・管理する医療機関であれば、会員本人だけでなく、勤務医の方や事務員からの相談も可能です。

医療機関等がサイバー攻撃を受けた場合等の厚生労働省の連絡先

◇医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室

TEL: 03-6812-7837 E-mail: igishitsu@mhlw.go.jp

サイバー攻撃を受けた場合など、情報セキュリティ・インシデント発生時の京都府内の連絡先

◇京都府警察サイバー対策本部 サイバー企画課

TEL: 075-451-9111(代表) ※休日・夜間は京都府警察本部 サイバー当直が対応

NISCサイバーセキュリティ・ポータルサイト(内閣サイバーセキュリティセンター委託事業)

◇ランサムウェア特設ページ

<https://www.nisc.go.jp/stopransomware/index.html>



京都府病院協会・京都府立医科大学共催 「2024年度看護師特定行為研修セミナー」のご案内

京都府立医科大学、京都府病院協会では、特定行為研修制度を臨床現場に定着させ、その活動を支援していくことが必要であると考え、昨年度に引き続き、標記セミナーを開催することといたしました。

第1部「招待講演」では、滋賀県健康医療福祉部次長の切手俊弘氏から「手順書の作成過程とその活用」と題してご講演を頂戴いたします。

第2部「特定行為研修修了生による活動報告及び実践状況」では、術中麻酔管理領域コースとして大阪鉄道病院の蔭山恵子氏と京都第一赤十字病院の谷山智子氏から、それぞれご発表いただきます。

また「特定行為研修研修生による研修症例報告」では、外科術後病棟管理領域コースとして京都府立医科大学附属病院の辻元早苗氏、術中麻酔管理領域コースとして京都府立医科大学附属病院の高橋美穂氏から、それぞれご発表いただきます。

開催日時は下記の通りです。

多数の医療関係者のご参加をお待ちしております。

日時 令和7年2月28日(金) 午後4時～6時

場所 京都府立医科大学 看護学学舎(ハイブリッド開催)

対象 特定行為研修修了生、特定行為に興味のある看護師・管理者
ならびに修了看護師のいる施設の管理者

以下の二次元コードよりお申込みください。



地域の中核病院として救急医療や高度医療を積極的に推進している全国各地の優れた病院を訪問し、その先端技術や施設を見学、病院運営などについて意見交換を行なう機会として開催している「病院長研修」を、今年度も実施しました。今回は12月20日～21日にかけて、愛媛県四国中央市のHITO病院を見学しました。

HITO病院を視察

令和6年度病院長研修を実施

急性心筋梗塞・糖尿病の4疾病を中心に、専門性の高いチーム医療を実践されています。さらに、超急性期から維持期まで一貫したリハビリテーションを提供する体制も整えつつ、在宅医療にも積極的に取り組み、医療・介護・福祉の一体化で、切れ目のない医療を提供されています。

これらの医療を効率的に提供するために、医療DXを推進。医師だけでなく、その他のスタッフも含め基本的に1人1台のiPhoneを導入。コミュニケーションの中心に据えるとともに、院内のどこにいても患者の状態が確認できる画期的なシステムとなっています。また、小規模なチームからスタートすること、自然な拡がりを促し、現在では約500台が運用されています。

今回の研修は、医療DXを進める上で障壁となっている様々な問題を解決する助となる内容で、今後の病院経営にとって非常に有意義な見学となりました。

令和6年度病院経営現状アンケート調査を実施 ご協力ありがとうございました

昨年12月に実施いたしました「令和6年度病院経営現状アンケート調査」では、ご多用のところ多数の会員病院からご回答を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。今後結果を取りまとめた上で、会員病院の皆様にご報告させていただきます。なお、その結果を踏まえて、支援を適切に行うよう、行政等へ提言や要望を強く行っていきたいと考えております。各病院の経営が改善するよう主張したいと考えておりますので、今後とも本協会の運営にご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

